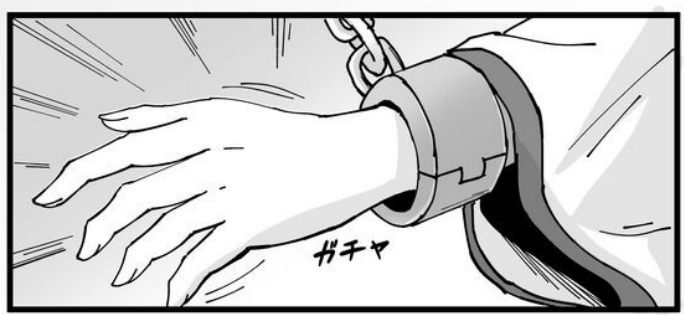
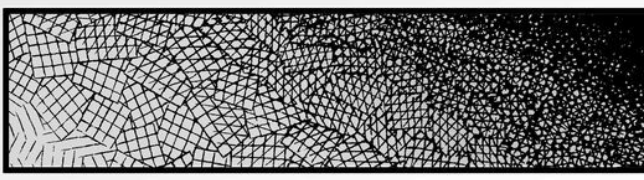


うっ!?

これは一体…?

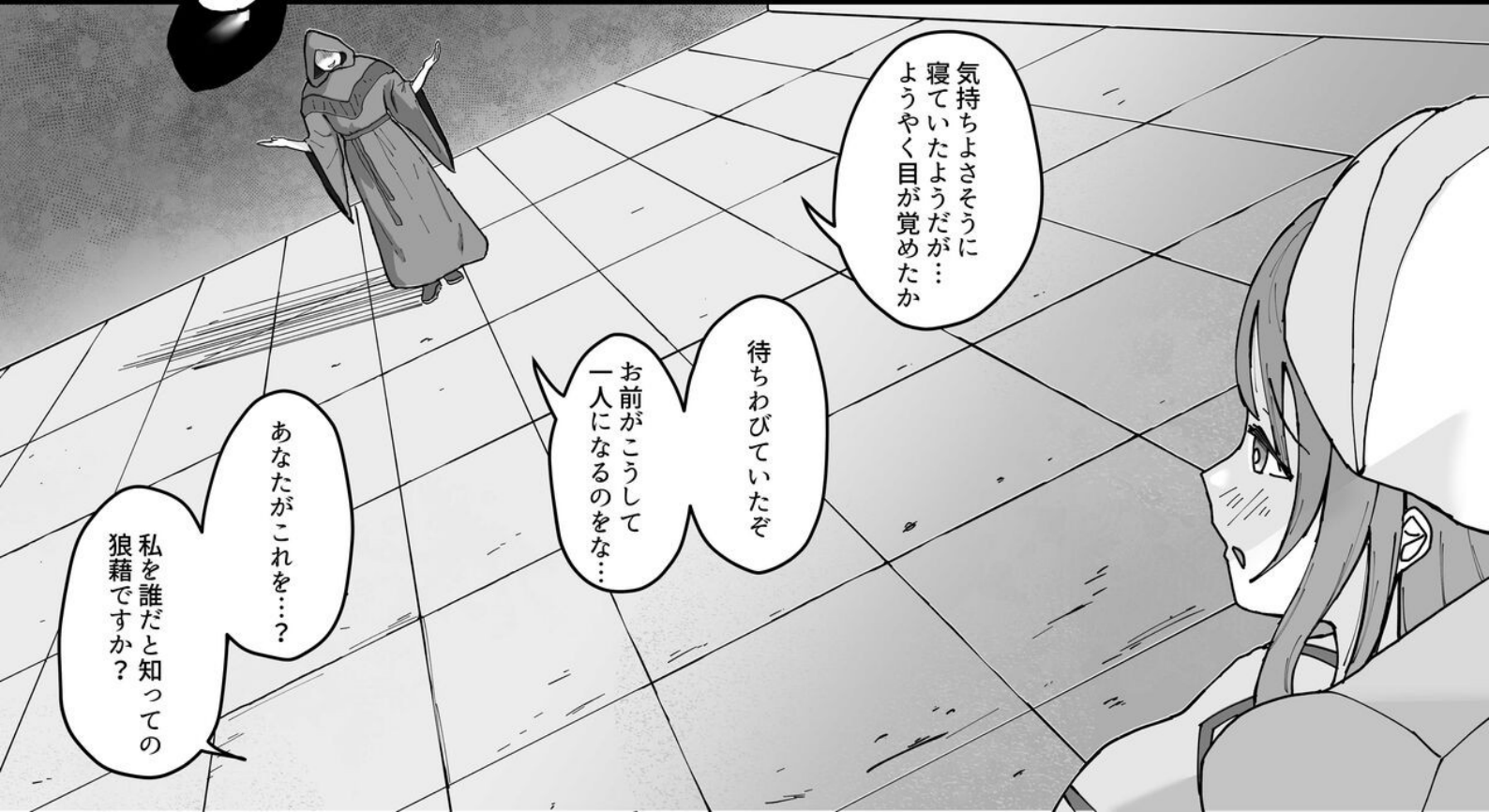
私は先程まで
路地裏にいたはず…
それで一瞬
意識を失って…



ガチャ



ん…あ…



気持ちよさそうに
寝ていたようだ…
ようやく目が覚めたか

待ちわびていたぞ

お前がこうして
一人になるのを…

あなたがこれを…?

私を誰だと知ってるの
狼藉ですか?



国王直任
対魔物小隊

その後衛で
プリーストの役を
務める…

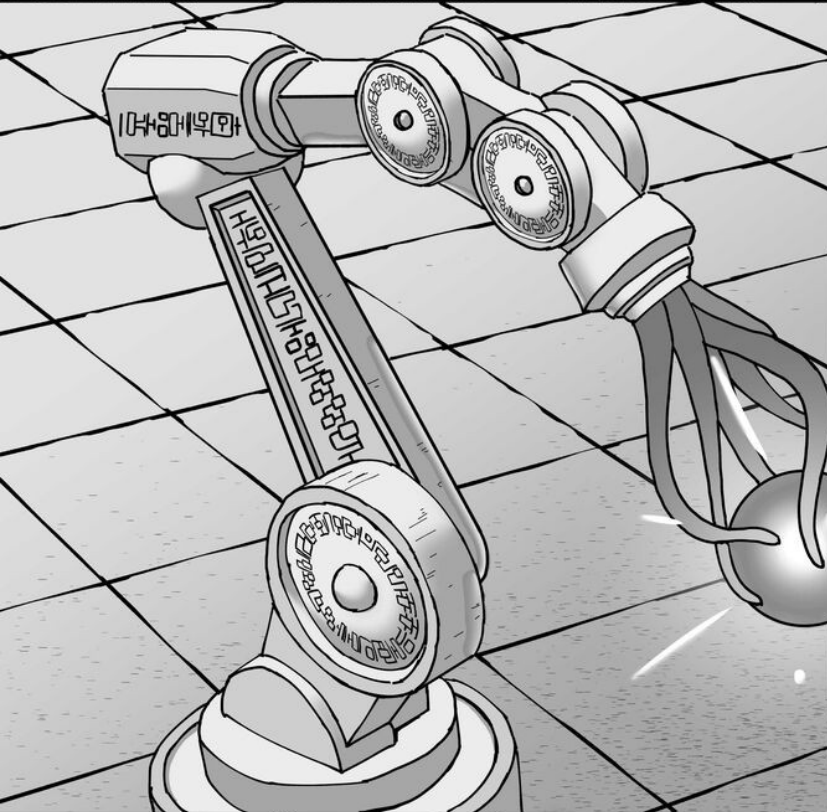
知っている

味方を大幅強化できる
固有パッシブを持ち

更には様々な
精霊術を使い
こなせると言う

聖女シャルディナ

知っているなら
早く私を
解放した方が
身のためですよ



ふふふ…

その素晴らしい
能力について
考えがあつてな…

お前の魂を抽出して
使用すれば

能力の使用効率を
上げられる上に

命を落としたり
敵に寝返る心配を
しなくて済む

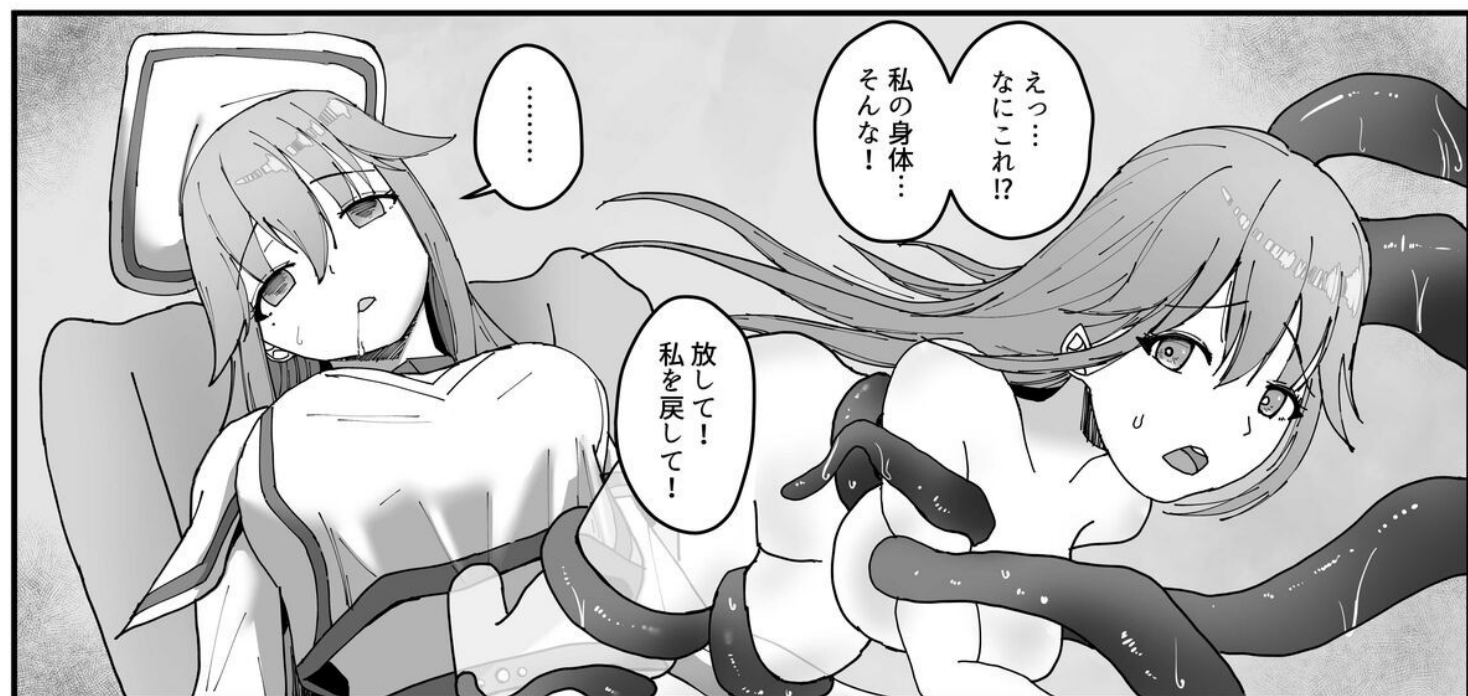
バカバカしい

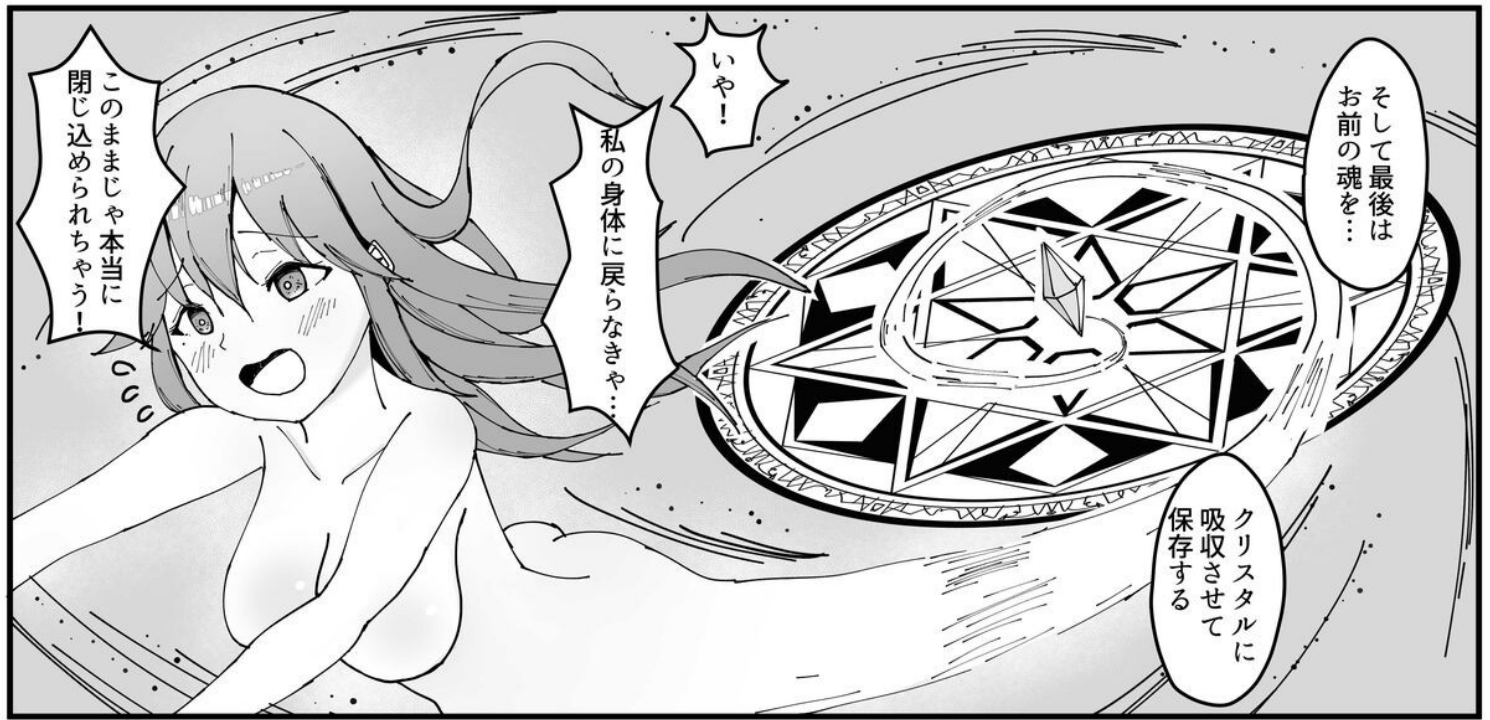
たとえ本当に
できるとして

国王様が見過ぐす
わけないわ!









そして最後はお前の魂を…

いやー!

私の身体に戻らなきゃ…

このままじゃ本当に閉じ込められちゃう!

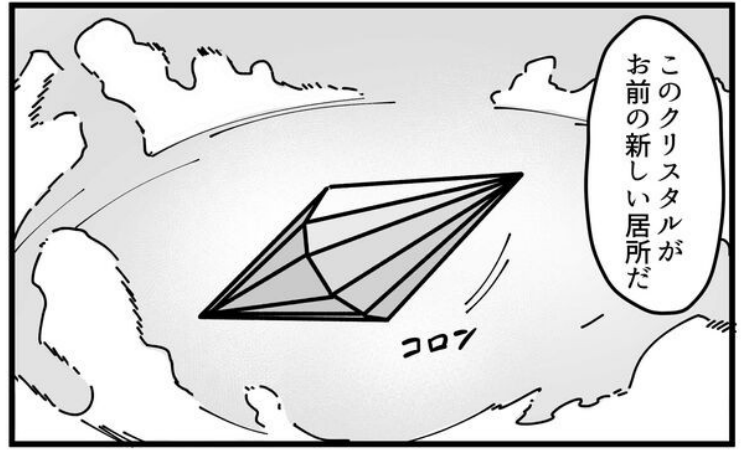
クリスタルに吸収させて保存する



若く美しい体だ

ただ捨てるのももったいない

くくく…



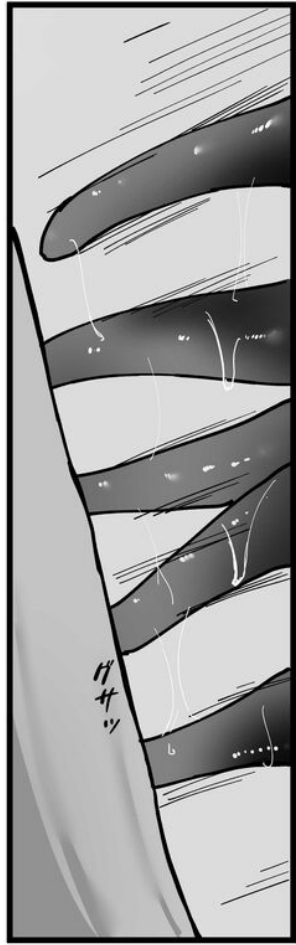
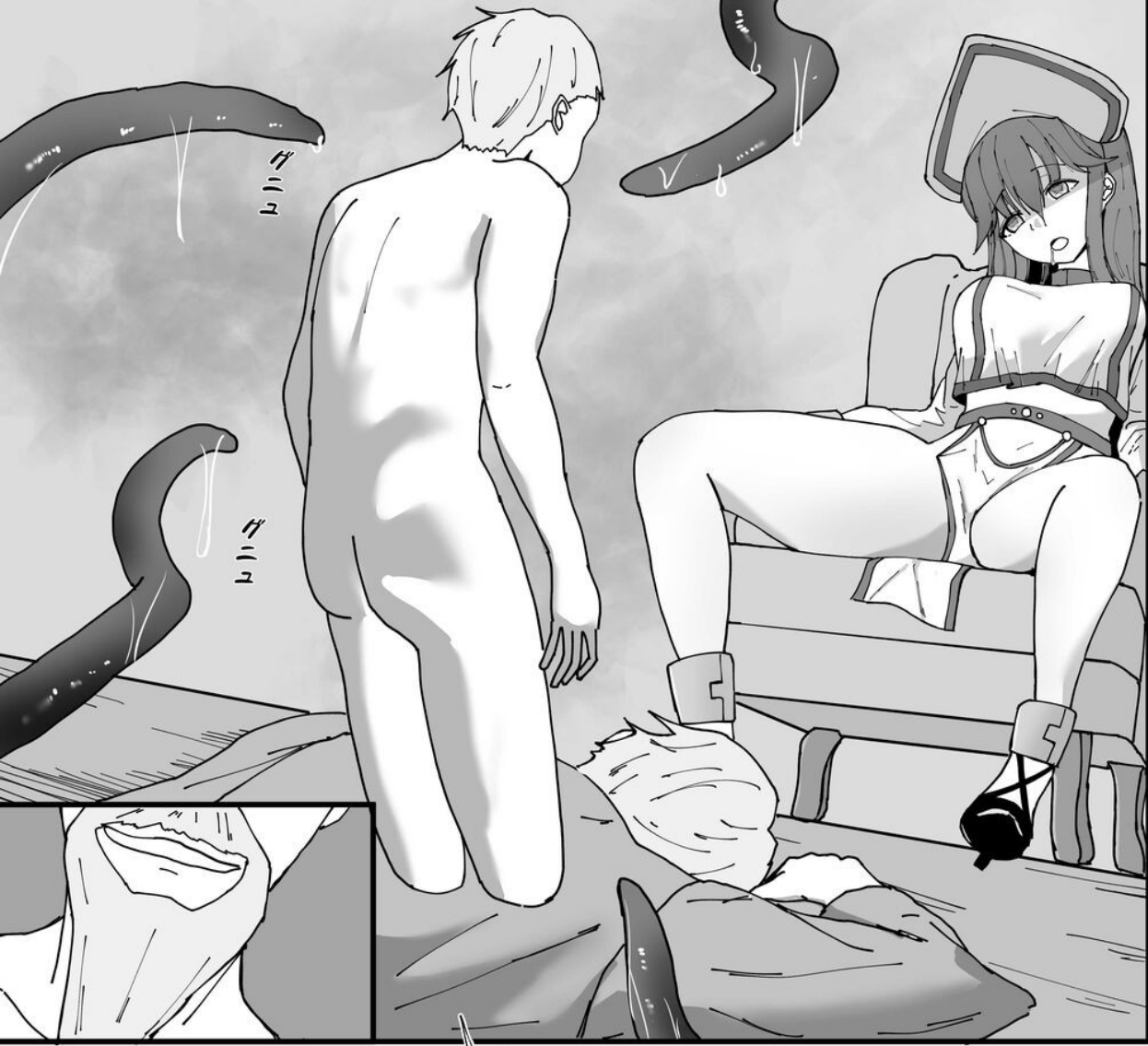
このクリスタルがお前の新しい居所だ

307



さて次は…聖女シャルディナの抜け殻

こちらもちゃんと処分しなければ





それにこの胸...

長い髪...



余の魂が

シャルディナの身体を完全に支配している!

くはは...

実にうまくいった

うら若き聖女の肉体

ありがたく貰い受けたぞ



これでも十分に馴染めているようだ...

もう少し調教してやるか♥



余がお前の身体を
乗っ取ったのだ

え？



魔導台座に嵌めれば
返事ができるだろう

どうだ？
外の方は
見えるか？

あなたは誰ですか？
私にそっくりですけど



その褒美に

王の子を授からせて
やろうか

何を言って…

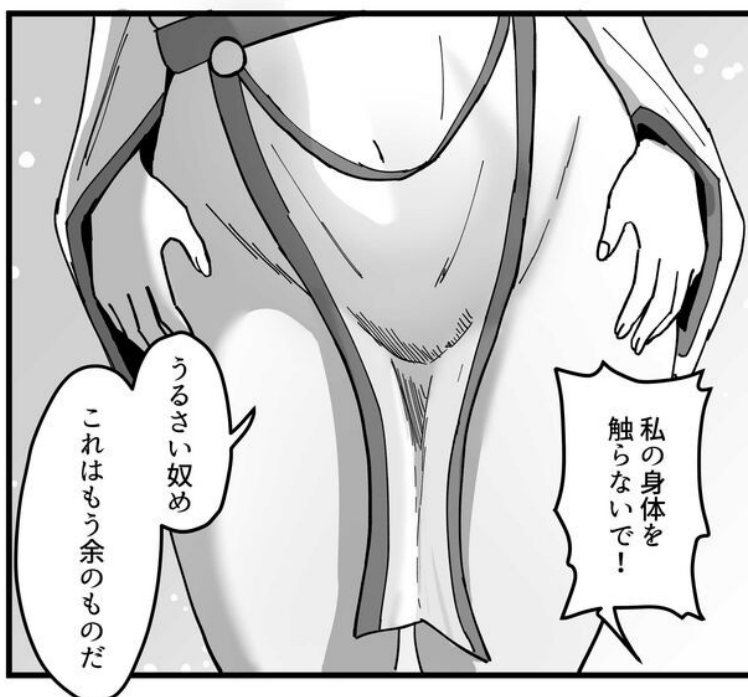
聖女の子宮も
うずうずして
いるぞ

ふざけないで



くく、
お前の胸は

見た目より
もっと大きいな



私の身体を
触らないで！

うるさい奴め
これはもう余のものだ



やめてよ!
はずかしい!

見下ろす光景は
まさに圧巻だな

光栄に思え

余の性技は一流だ



ああ♡

もう我慢ならん

余は多くの女を
遊んできたが

この巨乳は中でも
一二を争うものだ



それが今は
自分の身体に
ついていと思うと

なんとも不思議な
気分だ



気持ちいい

乳首だけで
もうイキそうだ



よもや余が
自分に対して
この技を使うとは

はあ

あ

あ

たまらんわあ

おねがい:
もうやめて



全身が
ビクビク震えて
立ってられん

気持ちいい

あふっ

あ♡



押しつぶせば…

擦らずに



布越しでは
満足できん…

もっと…
直接的な刺激を…

はあ
はあ



素晴らしいな
女の体は

やめてよ!

さて次は…

私としてこの体を
遊びましょうか

そんな…



パンストの感触は
気に入っているが…

脱いでもしょうか





それに比べたら
元の体はやはり
だめですね

使えない

ちっ



前戯は
これくらいかな

若いって
いいですね

一回くらいじゃ
全然なんとも
しません



彼の物に
有り余る生気を
与えたまえ

活力の祝福!

私の精霊術!?

偉大なる精霊よ

我が呼喚に応え

夢幻の彼方
より顕現し



もう歳ですし
仕方がありませんが



ふふふつ
よく効いてる

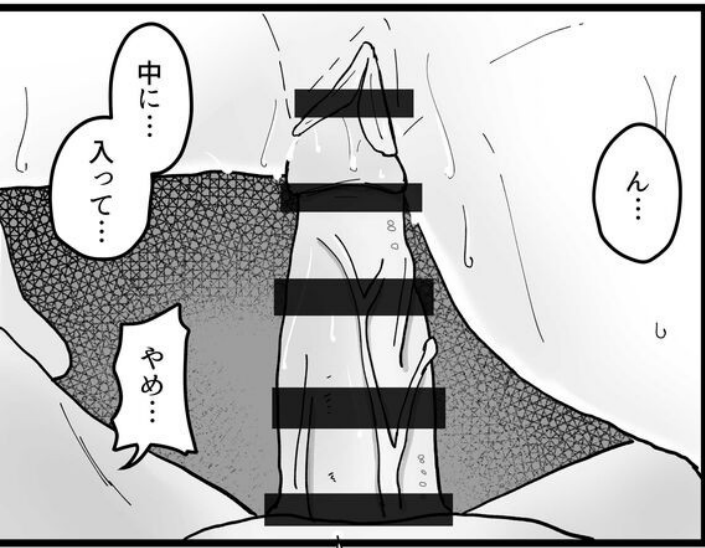
というか
効きすぎてますね

こんなのが入って来たら...



肉体と魂が完全に
馴染みあったみたい

これで私は
名実ともに聖女
シャルディナに
なれました♥



中に...
入って...

ん...

やめ...



ひゃ!

あ...ああ!



準備もできたし

聖女の処女穴を

王家に
捧げましょうか

え...待って...



奥まで...来たあ!

腰...動かすの
止まらない♡

痛みは術で
何とかして...

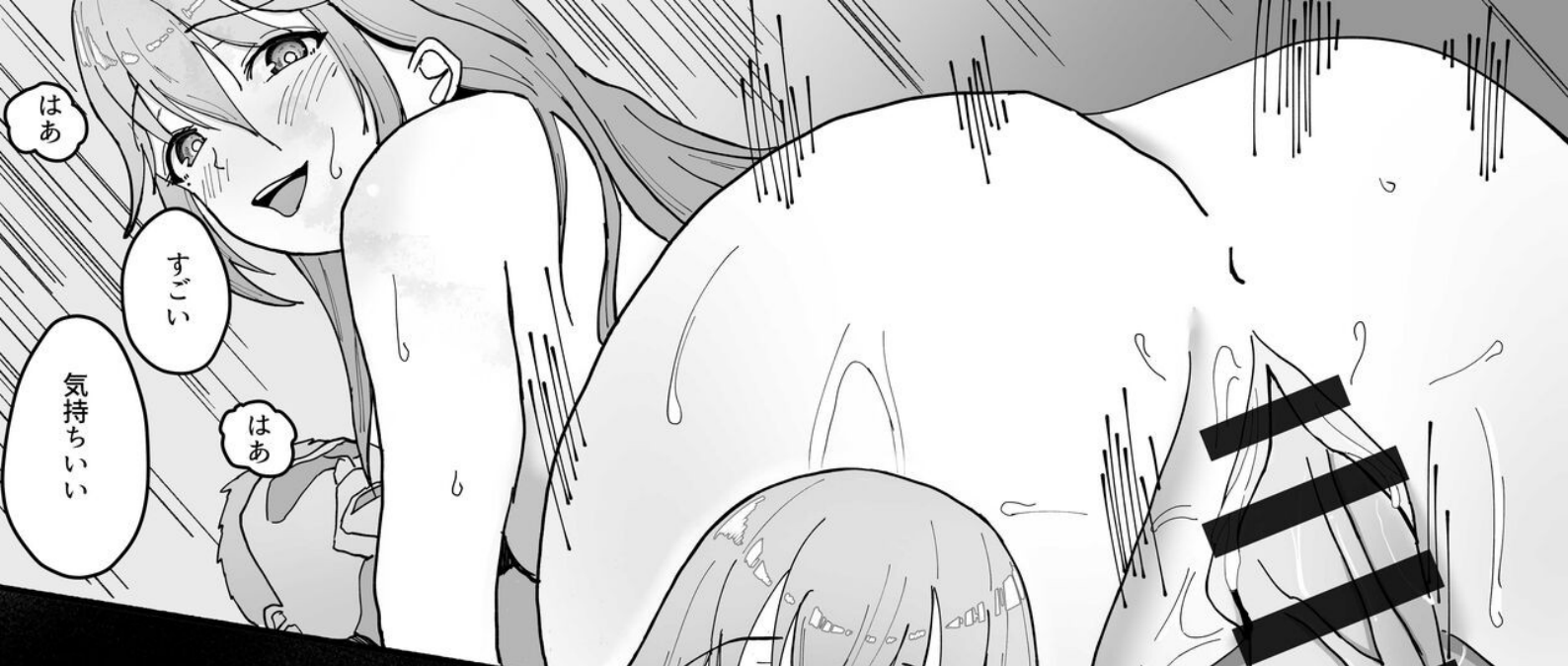
ああ...
お腹の奥が
満たせれる

あ...

あっ

はあ

あ



はあ

すこ

はあ

気持ちいい



興奮が止まらない♡

この体が孕むまで何回でもやってやる♡

あはっ

んっ

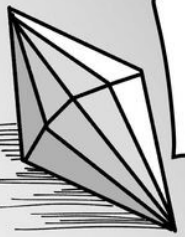
この嬌声も…

私が出しているんだ

んはああああ

あなたなんか…ろくな死に方しないんだから!

この外道! 私の身体を返してよ! ううう…



月皇歴549年
病により先王が
この世を去った

そして彼の遺志のもと
王家の血を引く聖女が
その後継者となる

シャルディナ
女王が国を
統治して以来

魔物の出現は
大きく減少し

民からも王室内でも
敬愛される方となった

残念でしたね

あなたが
犠牲になって
全てがうまく
行きましたよ

忘れて
いました

あなたは
魔導台座が無ければ
喋れませんでしたね

気が向いたら
またお話を
しましょうか

元聖女
シャルディナ

.....